

平成 30 年度 社会福祉法人浄願寺福社会事業報告書

1. 法人本部

①理事会の開催

開催 期日	開 催 場 所	出 席 数	議 案
H30.5.26	別館ひまわり	9/9	① 平成 29 年度浄願寺福社会事業報告の件 ② 平成 29 年度浄願寺福社会決算報告の件 ③ 平成 29 年度浄願寺福社会監査報告の件 ④ その他
H31.1.31	浄願寺こども園 第二事務室	8/9	① 平成 30 年度浄願寺福社会予算補正の件 ・浄願寺こども園会計 ・児童クラブ風ん子ハウス会計 ・子育て支援センターどんぐり会計 ② 浄願寺福社会給与規則一部改正の件 ③ その他
H31.3.25	浄願寺こども園 第二事務室	8/9	① 平成 30 年度浄願寺福社会予算補正の件 ② 平成 31 年度浄願寺福社会事業計画（案）の件 ③ 平成 31 年度浄願寺福社会予算（案）の件 ④ 幹部職員継続雇用の件 ⑤ 給与規則一部改正の件 ⑥ 平成 31 年度雇い入れ職員の件 ⑦ その他

②内部監査

平成 30 年 5 月 22 日(火) 19 時 00 分より、監事 2 名により平成 29 年度分法人運営及び経理の監査を受けた。

平成 29 年度の社会福祉法人浄願寺福社会の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等決算帳票については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正と認める。

指摘事項 ・こども園の床の損傷が見受けられるため、改修の検討をすること。

- ③ 第一回評議委員会 H30.6.19 別館ひまわり ①平成 29 年度浄願寺福社会事業報告の件
②平成 29 年度浄願寺福社会計算書類承認の件
③その他

2. 事 業

I. 浄願寺こども園

① 園児数 定員 135 名

0歳児	7	8	12	13	17	17	18	22	24	25	25	27	215
1.2歳児	45	47	48	48	48	47	46	46	47	47	47	49	565
3歳児	16	15	16	16	15	13	13	13	13	13	13	13	169
4.5歳児	27	27	27	27	25	24	24	24	24	24	24	24	301
小計	95	97	103	104	105	101	101	105	108	109	109	113	1250
3歳児(1号)	15	16	16	16	17	17	17	17	16	15	15	15	192
4.5歳児(1号)	37	37	38	38	39	39	39	39	39	38	38	38	459
小計	52	53	54	54	56	56	56	56	55	53	53	53	651
合計	147	150	157	158	161	157	157	161	163	162	162	166	1901
保育教諭	30	30	30	27	27	27	27	30	30	30	29	29	346

② 当該年度の特筆すべき事項

平成 30 年度は認定こども園に移行後 3 年目にあたり、一号認定児童が昨年度比 111 名増となった。その結果、学級編成加算、チーム保育加算分として、12,827 千円の給付を受け、職員配置にも余裕が生まれ、年長児では配置基準 1 名の担当を 2 名にしたことにより、安定した教育・保育の提供をすることができた。また、30 年度は杵築市子育て支援課の事業である市内こども園・保育園・幼稚園が参加する園公開保育の担当園に当たり、職員一丸となって公開保育に向けて学習・研鑽を重ね、より充実した教育・保育の提供ができた。公開保育の評価も高く、職員の資質向上にもつながった。

また、経営面では、給付金年間差額の確定 (10,356 千円) が年度末になることにより、予算執行が間に合わず、ホール空調設備、園舎エントランス工事が年度内に完了せず、次年度へ持ち越しとなった。

③保育の内容

保育理念「共生・共育/信頼・尊敬/ゆとり・感謝」を掲げ、「共に生き・共に育ち合える」保育を願いとして、保育目標「ともに生き、ともに育ちあう保育の実践」、保育実践項目「①丈夫でしなやかな体の子ども・②友だちを思いやり、誰とでも関わりが持てる子ども・③みずみずしい感性豊かな子ども・④自分で考え、行動できる子ども」の 4 項目について、個々の心と体に即した成長発達を遂げるよう保育に取り組んだ。一人ひとりの子どもを大切に、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づきカリキュラムを立案、教育と保育を一体的に提供するよう、創意工夫し園児の心身の全面発達を目指し、季節に応じた保育を行うとともに、感性が豊かに育つよう自然に触れ合う体験活動を多く取り入れるよう心がけた。

また、子育て支援アンケートをとり、保護者の意向を取り入れながら「子どもの最善の私益」を考え保育するように心がけた。同時に保護者への子育てに対する情報提供や子育てについて考えてもらえるよう、クラス懇談会などで話し合いなどを重ねて保護者支援を行った。

さらに、教育委員会の要請で小学校との連携をとり、年長児から小学校へとスムーズに移行できるよう接続カリキュラム(アプローチャカリキュラム)を作成し、保育を行った。

給食の方では、栄養士が保育教諭と連携し、園全体で野菜作り・調理保育・栄養指導などの食育の推進に取り組み、給食材料や献立を検討しながら、より安全でおいしい給食作りに心がけた。

また、アレルギーのある子どもに対して、保護者との連携を取りながらアレルギー源を除去した給食も提供した。

④特別保育事業

ア. 延長保育事業

最近の社会情勢から両親の就労状況はますます多様化してきた。親が安心して働けるよう子育てを支援するため午前7時から午後6時までの開所時間に加え、さらに2時間延長して保育を行いその結果、保護者の仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立の負担を軽減でき、子供が安心できるような環境整備を総合的に推進し、児童福祉の向上を図れた。当園では、月曜日から土曜日まで概ね3名の延長保育を実施し、2人の保育教諭を充てた。

イ. 一時預かり事業(一般型)

30年度の利用実績は276名であった。母親の短時間就労や資格の取得、買い物、歯科通院、習い事またはリフレッシュと幅広く多様なニーズに応えることができた。働きたい女性のための託児サービス事業にも取り組んだ。また、在宅育児の母親が、利用目的として「同年齢の子どもたちと触れ合わせたい」「こども園でのびのびと体を使わせたい」などを挙げており、こども園が持つ子育て環境にも目が向けられている。同時に「すべての子どもに保育サービスを」という国の方針にも沿っており、子どもの健全育成にとって重要な事業である。

ウ. 一時預かり事業(幼稚園型)

30年度の利用実績は、平日8,562名、休日2,741名あり、1号認定の子どもに対して、保育に欠ける日においても教育・保育の提供をすることができた。

エ. 障がい児保育促進対策事業

当園は、心身に障がいを有する児童を受け入れ、他の児童と集団活動をともにする保育を行うことにより、障がい児の健全な育成と社会性を促進し、他の児童においても障がい児をとおして障がいの理解と偏見をなくすために事業実施した。

II. 放課後児童健全育成事業「児童クラブ 風ん子ハウス」

30年度利用実績(昨年度比延べ97名増)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	148
2年	10	10	10	9	9	9	8	8	8	9	9	9	108
3年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
4年	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
5年	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51
6年	7	7	7	7	7	7	7	7	5	5	5	5	76
計	45	45	45	43	43	43	42	42	41	42	42	42	515

昨年度に引き続き、主な活動内容として伝統文化教室事業による茶道教室と集団で遊ぶ機会が少なくなっている世情を踏まえ伝承遊びに取り組んだ。茶道は昨年度より学んできた作法を成長

に合わせた習得のために学年別に学び、より丁寧な作法を身につけることができた。また当該年度は国民文化祭が行われた事もあり、茶道教室に関心をもって学ぶ事が出来た。

伝承あそびでは縄跳び、缶蹴り、かくれんぼ、わらべ歌遊び、あやとり等を取り入れた事により子どもたちの遊びが広がり、集団で遊びを楽しむ仲間意識や協調性が深まった。また、地域のお年寄りから食文化を学ぶ計画については、梅干し作りやみそ作りを一緒に行う事はできなかったが、支援員が作り方を聞き作る経験が出来た。

保育の面では、支援員の子どもに対する言葉かけに気を付け、月一回気になる子どもの様子や全体の雰囲気、支援員の対応などについて話し合いを持ち、情報共有とかかわりの振り返りに努め、子どもの健全育成に全力を尽くすよう努力してきた。

Ⅲ. 子育て支援事業「子育て支援センター どんぐり」(平成 19 年 4 月 1 日開設)

30 年度利用実績

	開館日数	利用者(親)	利用者(子)	育児相談	市主催 (すくすく広場)
年実績数	238 日	2012 人	2446 人	17 件	4 回

〈当該年度の特筆すべき事項〉

30 年度より取り組んだ週 3 回の食事提供は利用者にとっても好評である。火・木の活動日より食事提供の日は利用が多く、核家族のため孤食になりがちな親子にとって、皆で食べる楽しさや美味しさを感じてもらえる事ができた。また家庭での料理のレパートリーを増やすことにつながった。

支援員 2 名の関係がうまくいかず、やりづらさを感じていたので、支援員を 1 名増やし 3 名にすることでお互いの思いを柔らかく伝えられるようになり、関係性もうまくいくようになってきた。

〈通常の活動〉

たくさんの自然に囲まれ、太陽の光や水・土との触れ合いを思いきり感じることでできる施設の強みを活かし戸外での遊びを充実させ、子どもはもちろんお母さんたちも一緒に楽しみ、日々の子育てに潤いを感じてもらえるように支援した。今年度は、0 歳児から 3 歳児までの多くの子どもの利用があり、大きい子が小さい子のお世話をしたり同年齢の子ども同士関わって遊んだりたくさんの交流が見られた。また交流を通してお母さんが我が子の成長を感じることで子育てへの自信にもなり保護者支援につながった。しかし、子どもと常に一緒にいることでストレスを感じているお母さんもいるので、相談を受けたり、一時預かり保育の紹介などもし、お母さん自身がリフレッシュして子育てが楽しいと思えるようにも支援している。

地域の老人会の力を借り、月一回「ひだまり会」を開催し、郷土料理などを一緒に作って食べたり、おしゃべりをしながら子育てのアドバイスをもらったりして交流を図ることができた。利用者親子はもちろん、地域の方も楽しんで参加してくれるようになり孤食の改善にもつながった。

核家族化や少子化が進む中、また転勤で県外から来て縁者、知人のいない人にとって、支援センターという交流の場があることで母親同士、子ども同士のつながりが生まれていることは、重要な意義があると考えられる。

(補助金) 1. 県費補助金

① 子育てホットクーポン補助金	56,560円
合 計	56,560円
2.市補助金	
① 延長保育事業補助金	1,289,000円
② 一時預かり保育事業補助金	1,507,000円
③ 一時預かり保育事業(幼稚園型)補助金	766,000円
④ 障がい児保育促進対策事業補助金	600,000円
合 計	4,162,000円
(委託金) ① 地域子育て支援事業委託金	6,000,000円
② 放課後児童クラブ委託金	5,929,000円
合 計	11,929,000円
総 合 計	16,147,560円

3. 職員研修

(1) 園内研修

- ①職員会議 保育現場の問題・課題を出し合い協議した。研修会の報告をするなど、職員間で情報を共有した。
- ②保育学習会 月一回、斎藤公子の著書を輪読し職員間で話し合った。
- ③自己評価会議 リーダーを中心に、一カ月を振り返り自らを評価しグループでの話し合いを持った。
- ④リーダー会議 自己評価会議の内容を園長・副園長・主幹保育教諭を交えてリーダーが報告し、情報や課題を共有した。
- ⑤週案会議 各クラスの主坦が週毎の保育を評価・反省し、課題を見出し次週の計画を発表し、情報を共有した。
- ⑤実技学習会 歌を歌う会やリズムの講習会を行った。
- ⑥事例検討会 気になる子どものエピソードなどの事例を通して自己評価・見直しをし、学び合った。

(2) 園外研修

ア、県保育連合会・認可保育協議会主催の研修会に参加

園長研修会・主幹保育教諭研修会・リーダー的職員研修会・専門職員研修会Ⅰ・専門職員研修会Ⅱ・食育推進研修会・療育担当研修会・九州保育三団体研究大会・県保育事業大会・保育士等キャリアアップ研修会・幼稚園教育課程大分県協議会・10年経験者職員研修会

イ、真宗保育研修会に参加

仏教保育大学講座・大谷保育九州大会・全国真宗保育大会・保育心理士研修会

ウ、杵築市保育協議会主催の研修会に参加

園長研修会・主任・主幹研修会・職員研修会・調理師研修会・リーダー保育士研修会

エ、自主研修会

保育連合会主催自主研修会、三園交流自主研修会（歌う会）

4. 施設整備及び遊具の整備

- ① 園舎上がり段新設 2,272,989 円
 - ② ひまわり開口部変更 872,640 円
 - ③ ホール西側駐車場舗装 2,160,000 円
 - ④ ドリームログ 木製積み木 367,960 円（どんぐり用）
 - ⑤ 水式イオン発生機 2 台 410,400 円
 - ⑥ ホール壁面塗装修復工事 993,060 円
 - ⑦ ホールサッシ、ペアガラス交換 950,000 円
 - ⑧ ホールの空調設備設置(次年度持ち越し) 5,601,960 円
 - ⑨ 園舎東側のエントランス工事(次年度持ち越し) 3,000,000 円
- 合計 16,629,009 円

5. 年間の主な行事

- 4 月 入園式・クラス懇談会・健康診断(内科・歯科)
- 5 月 春の遠足(佐野植物公園)・おはなまつり・年長児三園交流お泊り保育（九重青少年の家 2泊3日・久住山登山）
- 6 月 保育参加・子育て講演会(講師明石二郎氏)・年長児三園交流お泊り保育（耶馬溪屋形いなかの学校 2泊3日）・0.1.2 歳児担当交流会
- 7 月 年長児お泊り保育（香々地 1泊2日）・3.4 歳児・給食担当交流会
- 8 月 夕涼み会・園内お泊り保育（4・5 歳児）・公開保育
- 9 月 親子バス遠足(アフリカン・サファリ)・年長児三園交流お泊り保育（香々地青少年の家 2泊3日）
- 10 月 運動会(東小学校グラウンド)
- 11 月 健康診断(内科・歯科)・年長児三園交流お泊り保育（九重青少年の家 2泊3日・久住山登山）年長児久住山登山・市主催公開保育・クラス懇談会・消防訓練（消防署による）・年長児交流会(みかん狩り・1日)・0.1.2 歳児担当交流会
- 12 月 お餅つき・報恩講のお参り・クラス懇談会・3.4 歳児・給食担当交流会
- 1 月 スキー合宿（九重スキー場 2泊3日）・年長児交流会（スケート体験・1日）・クラス懇談会
- 2 月 年長児三園交流お泊り保育（浄願寺・2泊3日）
- 3 月 年長児交流会（中津そば打ち体験・1日）・お別れ遠足（夢公園・山香農業文化公園）・子ども報恩講(妙正寺)・お別れ会・生活発表会・卒園式

以上